

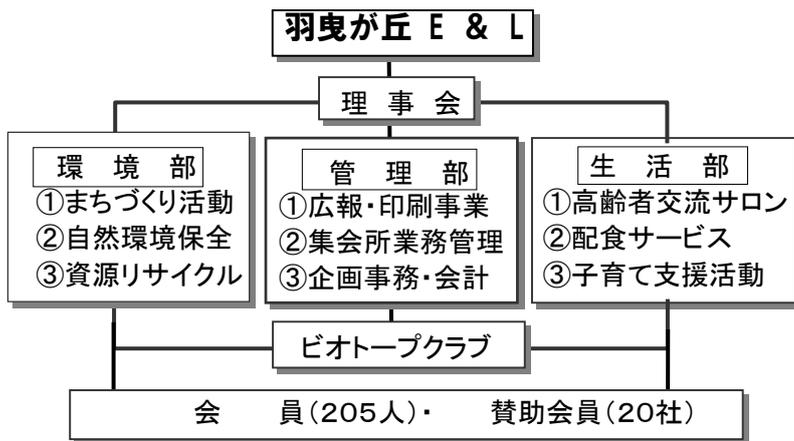
NPOを考える-4 今、市民と行政の協働が始まっています!・・・協働とは?

○全国的に市民団体(NPO等)と行政との「協働」が推進されています。「協働」とは、共同でなくそれぞれのできることを持ち寄って、まちづくりを実践するものです。例えば、行政では実践が難しいまちづくりの分野を市民団体が担うものです。羽曳野市では今年度から自治振興課の名称を「市民協働ふれあい課」に変更して、市民からの提案を受入れて、市民と協働するという方向に向かっていきます。

○平成18年度、府内市町村では行政・住民・NPO・企業などの協働による地域の支援体制の構築を目指し、ビジネスモデル事業を実施しています。3月開催の「CBフォーラムおおさか」で、泉佐野市・高槻市・豊中市・枚方市などのモデル事業が報告されました。NPOと行政職員が壇上に並んで、それぞれの立場で地域のCB事業に取り組んでいる協働事例が発表されました。

○大阪府のNPO推進資料には、「企業・行政は社会を構成する大きなセクターです。NPOとは随分性格の異なる存在ですが、建設的な批判を含む働きかけをしたり、逆に協働で事業を行うなど、地域課題に積極的に関わることで社会をより良くすることができる」と解説しています。分野の異なる企業が異なった技術を持ち寄って新しい製品開発に取り組むことも協働に相当します。

平成18年度 羽曳が丘E&L 組織と役職名簿



理事長	岡橋長兵衛	監 事	住吉 武治
部 名	環境部	管理部	生活部
副理事長	西川俊一郎	齋信 繁珍	村上 周郎
理 事	薦口 好雄 前田 滋子 森榮 道雄 柏樹 實 宮原 敏明	西田 政弘 宮本 文恵 蛸田 春久 酒井 武 藤田 香	原田恵美子 岸下 良子 高橋 祐子 竹中とし子 村上 卓 野村 匡則
幹 事	西村源之助 今井 慶子 保山 裕美 衣川 全子 須田 元幸 土井 正義 宮下 勝夫 有本 孝子 村田貞次郎 奥本 正孝 梶原 明 中山 賀雄 桧垣 正道 柿本 実	岡田 輝子 近藤久美子 寺島 直子 押川 新一 遠藤喜美子 中川 収 新 雅美	太田 紀子 馬場 則子 桑野 禮子 田中 茂子 中谷 裕子 瀬合 虎恵 濱口かよ子 榎本 庸子 河野 和代 佐野 紀世 松尾 作枝 井藤 幸

入 会 案 内

会員特典

- ①行事・研修会・見学会などの活動を案内します。
- ②広報紙やホームページで賛助会員(企業・商店)を紹介します。
- ③E&Lの活動では非営利有償活動団体保険に加入します。

入会手続

- ①年会費 正会員 1000円 1口以上
賛助会員 5000円 1口以上
- ②申込書に年会費を添えて集会所へお申込み下さい。
毎週月曜日・水曜日午後2時～午後4時
第一集会所 岡田 958-4125
第二集会所 遠藤 958-6716
第三集会所 畑 958-9571
- ③または、申込書に年会費を添えて各部理事へお申込み下さい。
- ④会員期間は4月1日～3月31日の事業年度に準じます。
- ⑤賛助会員は商店・企業・地域団体の方々へ入会をお願いしています。



ビオトップクラブ

運営委員長 村上周郎
グループ長 松本 実 宮原敏明 森榮道雄
大倉比三善 奥本正孝
事務局 西田政弘

編 集 雑 記

□昨年、羽曳野市へ申請した子育て支援事業は実績不足から認可されなかった。本年も「つどいの広場」事業に申請したが、実績不足で選定外になった。管理部ではこれらの申請業務に関わった経緯から、子育て支援の必要性を痛感した。補助金に頼っていた訳ではないが、羽曳が丘として自主的な子育て支援事業に取り組むべきと思った。事業方針が地域から評価されれば、地域団体や市民からの資金支援も可能と思う。

□近年は地域社会の高度化と複合化の課題に取り組んでコミュニティ・ビジネスをめざすと云われているが、高度化と複合化は拡大する一方である。特に新規事業に取り組むと人材や資金などの課題が多い。例えば、前述の子育て支援も課題は多かったが、まず、関係スタッフが実践するための理念を共有して、実践のための課題を整理し、ポイントを絞って企画・前進することだと思った。

□大阪府モデル事業の申請の主旨で悩んでいた時、総合福祉協会から高齢者と子育て支援をリンクするアドバイスがあった。その瞬間、めざすべき事業の理念が見えた。大阪府の社会福祉協議会・健康福祉部・総合福祉協会の方々の現地視察とご指導には深く感謝しています。この事業に取り組んでやがて1年になる。今、ビオトップクラブのメンバーは自然環境保全と子育て支援の必要性を実感して前進している。(管理部西田)